

【台紙】

ねぶたは、魅力ではなく魔力

千歳作龍

第五代 ねぶた名人 千歳作龍

ねぶたは、魅力ではなく魔力
その魂が宿ってくれるねぶたが
いいねぶたなんだ。

千歳作龍の言葉である。二十歳でデビュー、前年、十六歳で田村勝賞を獲得。これまでに半世紀にわたり150台余のねぶたを手掛けた千歳作龍が、彼はその著者として記す。

「このねぶたは、魂作である。このねぶたの魂の宿るねぶた、見る者の魂をえぐるねぶたを求めて、千歳作龍の旅はまだ終わらない。」

昭和22年青森市に生まれた。12歳頃より父・千歳作太郎に師事、ねぶた制作を始める。昭和35年、父の没後、ねぶた制作を継ぐ。昭和42年、青森県立芸術文化センターで、千歳作龍のねぶた展を開催。平成24年、第五代ねぶた名人認定を受ける。ねぶたの最高賞である田村勝賞6回、ねぶた大賞5回、加多威賞など受賞多数。



【ポストカード】

ポストカード (1)



ポストカード (2)



(宛名面)
